



日本共産党 中野区議会議員 浦野さとみの区政報告

ほっこり通信 No. 101

何でも無料生活相談実施中
e-mail: urano@jcp-seven.jp
携帯電話: 090-8049-4784

●ホームページ: <http://urano-satomi.jp>
浦野さとみ 検索
●Twitter: @urano_satomi
●Facebook: 浦野さとみ



聞かせて、
あなたのこと、
街のこと



「公助」の役割を發揮して、 区民のいのち・暮らし・生業を守る区政を

2月10日～3月25日の会期で区議会定例会がおこなわれています。5月に区長・区議補選があるため、現区長の任期内では最後の区議会定例会です。浦野は、2月15日に日本共産党議員団を代表して本会議一般質問に立ちました。質問の概要をお伝え致します。

新型コロナ対策は、大規模検査・迅速なワクチン接種・事業継続の補償をセットで

正しい診断と治療でいのちと暮らしを守ることが欠かせません。この間、国会議員や都議会議員と連携し、検査体制拡充の道を開いてきました(右表)。



本会議一般質問の様子▶

..... 検査体制拡充の内容

- 都内すべての幼稚園、小中学校、高校などの教職員→週1回程度の定期的な抗原定性検査
 - 2人以上の陽性で学級閉鎖→クラス全員PCR検査
 - 校外学習や部活の大会の前後→参加者全員PCR検査
- 検査の結果、陽性となった方が自宅放置とならないよう、病床確保・宿泊療養施設の拡充・自宅療養の適切な支援体制を引き続き、求めています。

..... 新型コロナワクチン3回目接種

- 下記の方は、2回目接種後6か月を経過した日以降に接種できます
- 18歳以上の区民の方
 - 医療従事者
 - 高齢者施設等の入所者・従事者
 - 中野区内の保育施設・児童館・学童クラブの従事者
 - 区立幼稚園・小中学校の教職員
 - 清掃事業に従事する職員

「対話の区政」で更なる前進を

区政の前進面

- 区立保育園全園民営化方針を撤回し、区立園存続
- 区立幼稚園廃止の見直し
- 児童館全廃計画を見直し、職員増員による開館日拡大や機能充実
- 子どもと子育て家庭への実態調査を踏まえた子どもの貧困対策
- 子どもの権利に関する条例制定に向けた取り組み
- 哲学堂公園再生整備計画の見直し
- 旧豊多摩監獄表門の保存・活用
- 公契約条例制定に向けた取り組み

区政の課題

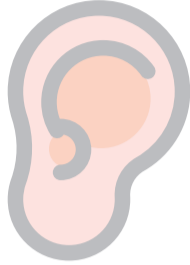
- 平和の森公園再整備計画は最終的には当初の計画通りに
- 中野駅周辺まちづくりはアリーナ規模の見直しが図られたものの、組合施行の市街地再開発などは区が前のめりとなっている
- 事業のあり方によっては地権者や地域住民の生活と権利が損なわれかねず、住民合意を大前提としたまちづくりが求められる(どの課題に対しても)
- 前区政のもとでの行き過ぎた職員削減(2000人体制) など



本会議一般質問より

聞こえの支援を

軽度～中等度の難聴者は推定で1300万人とも言われ、幼少期からも聞こえの障がいは起こります。特に、子どもに軽度の難聴がある場合、本人や家族も気づかずに発見が遅れることがあります。聴覚はコミュニケーションを支えるため、子どもの難聴についての理解と支援を学校教育などでも共有していくことが大切です。教育長から、「理解を深め、障害者理解教育の中で取り上げるよう促していきたい」と答弁がありました。



生活保護の充実・改善を

新型コロナの影響が長期化する中、仕事を失い、生活が苦しい人が増えています。生活保護基準以下(単身では約13万円/月以下)で生活されている方も多くいます。「生活保護の申請



や利用はみんなの権利」とポスターなどで可視化することを求めたところ、「年度内に作成し区内に貼りだす予定」との大事な答弁がありました。その他、扶養照会のあり方、ケースワーカーの体制強化や育成などについて質問しました。

◀(参考) 滋賀県野洲市で作成されたポスター

痴漢をなくす取り組みを

痴漢は性暴力であり、人権を侵害する明確な性犯罪です。絶対に許されるものではありません。法務省の2019年度版犯罪白書で、性的事件被害内容をみると痴漢が最も多くなっています。日本共産党東京都委員会のジェンダー平等委員会がおこなった「痴漢被害に関する実態調査」では、子どもや若者の被害が圧倒的で常態化していることが明らかになりました。電車・路上・駅構内・図書館などの公共施設といった身近な場所で起きています。加害者も被害者も生まない教育、警察やJR東日本・バス運行会社などとの連携、相談窓口の周知などを求めました。内閣府においても痴漢を含む若年層の性暴力被害の実態調査がおこなわれており、政治の課題として今後も取り組んでいきます。



日本共産党東京都委員会のジェンダー平等委員会がおこなった「痴漢被害に関する実態調査」



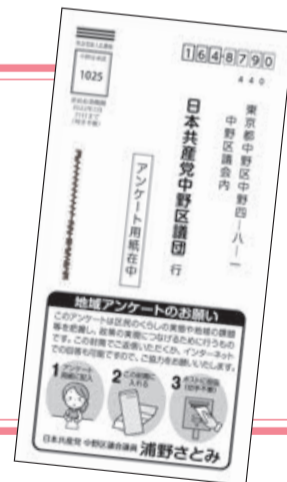
(仮称) 上高田五丁目公園の早期整備を

同敷地は公務員宿舎が解体され、現在は更地となっています(写真)。都市計画公園の整備に向けて東京都と調整がおこなわれ、新年度に都市計画手続きの事前準備が行われる予定です。整備にあたっては、地域の声を丁寧に伺いながら進めていくことをあらためて求めました。



ご協力をお願い致します

区民の方々のくらしの実態や地域の課題等を把握し、政策の実現につなげるためにアンケートを実施しています。アンケート用紙を入れた封筒(右写真)を各戸へ配布しています。記入して返送いただくか、インターネットからの回答に、ぜひ、ご協力をお願い致します(匿名でも可能です)。



▲インターネットからの回答はこちらから可能です



浦野さとみプロフィール

1980年千葉県松戸市生まれ(41歳)。2003年3月、千葉医療福祉専門学校・作業療法学科卒。同年4月、作業療法士として中野共立病院・リハビリ室入職。2008年リハビリ室主任。2011年3月、8年間勤めた病院を退職し、中野区議会議員選挙立候補、初当選。現在、3期目(厚生委員会、危機管理・感染症対策調査特別委員会〈委員長〉に所属)。趣味：竹富島への旅行、ゆずのライブへ行くこと、ソフトボール・野球。

地域のこと、身近なお困りごとなど、お気軽にご相談下さい。

弁護士をはじめ、各専門家などと連携しながら、解決に力を尽くします。

(弁護士による無料法律相談も実施中です)

